

令和4年10月21日

ATTS 会員 各位

繊維製品技術研究会(ATTS)
会長 牛田 智

第243回 繊維製品技術研究会の開催について

拝啓

晩秋の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、標記研究会を下記の通り開催いたします。新型コロナウイルスの感染対策として、
今回もオンライン開催となりますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席くださいますよう、
ご案内申し上げます。

敬具

記

I. 日 時：令和4年11月18日（金） 13：30～17：00

II. 方 法：オンライン開催（Microsoft Teams を使用）

参加者は Google フォーム <https://forms.gle/CfQ9ropPwPuWCZDD6>

または、事務局宛のメールにてお申込みください。

参加申込み締切：11月12日（土）まで

Teams 会議への接続方法は、後日改めてご連絡いたします。

[研究会資料]

◇報告資料は、進行に合わせて画面共有させていただきます。

また事前に HP から配布資料をダウンロードが可能です。（11/15～）

◇研究会記録からの配布資料入手方法

https://www.atts.ne.jp/members_only/kenkyukai_top.htm

会員ページの ID とパスワードが必要です。第243回の資料からダウンロード（右クリックして、「名前を付けて保存」を選択して下さい）。

III. 議 事： 司 会 : 木村幹事 議事録 : 森本幹事
 アンケート：橋本副代表幹事 事前準備 : 野村幹事

1. 伊地知副会長挨拶 (5分) 13：30～13：35

2. 講演1（質疑応答含む） (60分) 13：35～14：35

「アパレルの品質管理と消費者苦情－サプライチェーン管理や家庭洗濯での消費者苦情について－」

講師：一般財団法人 メンケン品質検査協会 神崎 晃 氏

SDGs に取り組むことが、企業に求められている。構造の複雑な繊維業界は、サプライチェーン管理が重要で、従来の素材管理だけでなく、労働環境・人権などへの対応が必要である。また、品質苦情事例の共有は事故の未然防止という点で、SDGs の活動といえる。今回は家庭洗濯を中心とした事例を共有する。

講演2（質疑応答含む） (60分) 14：35～15：35

「機能性試験方法の標準化－最近のJISの動向－」

講師：一般財団法人ボーケン品質評価機構 未来研究所 副所長 坂井 史治 氏
日本の強みである高機能繊維に関する試験方法の整備が進み、2017年以降だけでも15以上のJISが開発されている。標準化の動向（主なJISの制定・改正情報）とともに、最近発行された機能性試験方法のJISから、いくつか紹介する。

～休憩～

(10分) 15:35～15:45

3. 研究分科会報告

(75分) 15:45～17:00

- ① 関東情報研究分科会
- ② 関西情報研究分科会
- ③ 衣料品の水洗い研究分科会
- ④ 新 JIS 取扱い表示研究分科会
- ⑤ 毛羽付着試験研究分科会
- ⑥ ドライクリーニング染色堅ろう度研究分科会
- ⑦ レポート編集委員会

IV. 連絡：ATTS 活動の紹介を目的として、本研究会へは ATTS 会員以外に TES 会員、及び TES 会員所属の企業の方も参加されることがあります。

◇第 243 回 繊維製品技術研究会 参加申込書

お申し込み期限： 令和4年11月12日(土)

<送付先>

e-mail : atts@mm.em-net.ne.jp

事務局 貴村 旦 宛

参加申込書			
会社名	出席者名	ご連絡先 (TEL)	e-mail アドレス